

# 江東区

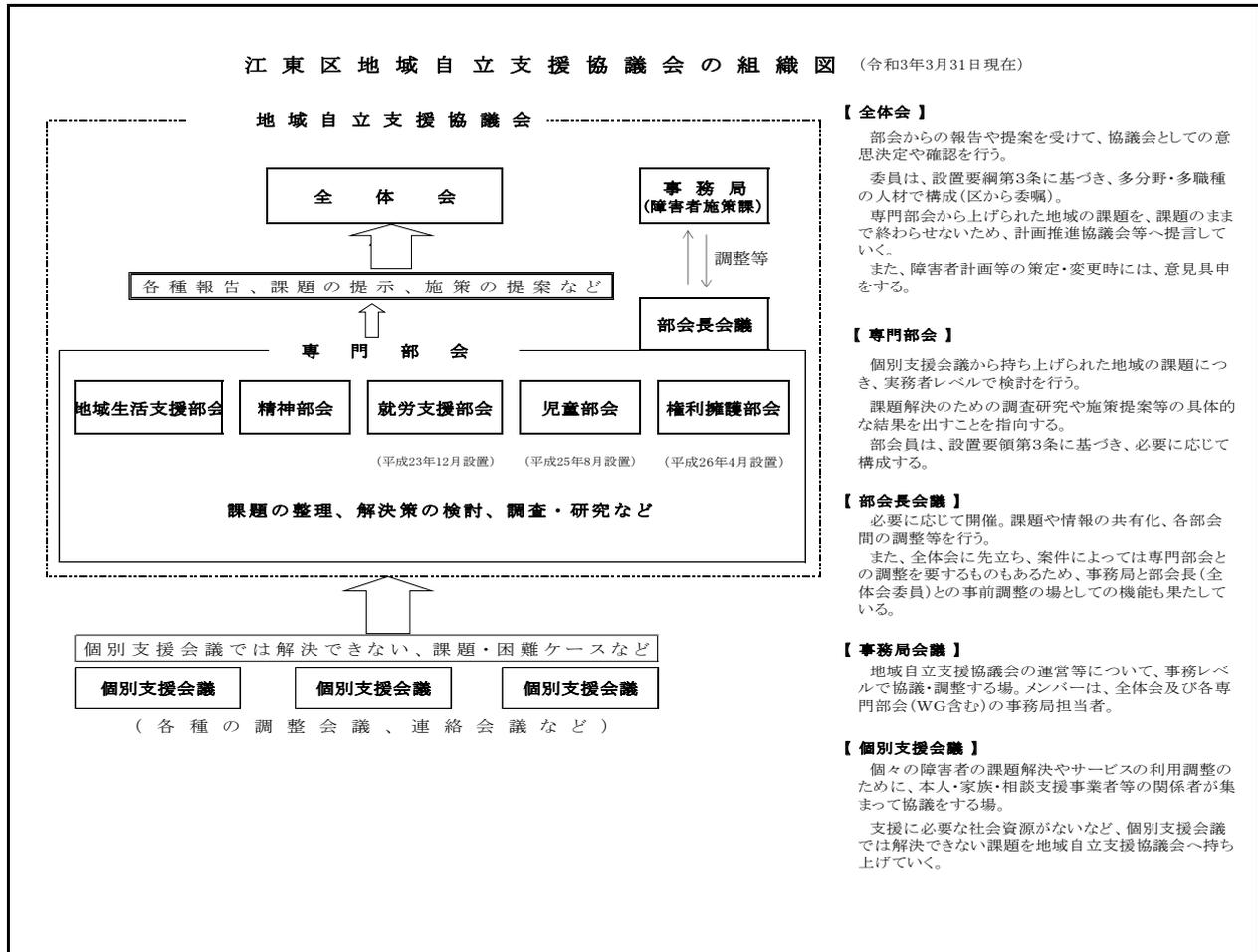
【名称】江東区地域自立支援協議会

【ホームページURL】 <https://www.city.koto.lg.jp/221010/fukushi/shogaisha/kyougikai/20170601.html>

【設置年月】平成20年3月

【運営方法】直営

【組織図】



## 【相談支援体制の整備状況】

基幹相談支援センター数	委託相談支援事業所数	指定一般相談支援事業所数		指定特定相談支援事業所数	指定障害児相談支援事業所数
		地域移行支援	地域定着支援		
0	1	3	3	30	13

## 【地域生活支援拠点等の整備状況】

整備状況	整備時期	整備類型
検討中	未定	多機能拠点整備型+面的整備型

## 【日中サービス支援型共同生活援助の有無】

日中サービス支援型共同生活援助の有無

開設の有無	開設時期
なし	—

## 【全体会及び専門部会の活動回数及び委員数】

全体会の活動回数及び委員数

全体会	
回数	委員数
2	19 (1)

専門部会の活動回数及び委員数

部会名	回数	委員数
就労支援部会	3	22 (0)
権利擁護部会	5	22 (2)
精神部会	3	29 (0)
地域生活支援部会	2	15 (0)
児童部会	6	28 (0)

※「委員数」の（ ）：障害当事者（本人）で委員に就任されている方の人数（再掲）

## 【全体会の委員構成及び活動内容】

### （１）委員構成

種別	人数	種別	人数	種別	人数
学識経験者	1	医療関係者	0	保健所	1
教育関係機関	2	雇用関係機関	1	企業	0
障害当事者・家族・関係団体	2	身体・知的障害者相談員	2	相談支援事業者	1
障害福祉サービス等事業者	5	社会福祉協議会	1	法曹関係者	1
民生委員・児童委員	0	地域住民	0	行政職員(区市町村)	1
行政職員(都)	0	その他	1		
合計	19				

### 委員名簿

No.	役職	氏名	所属	種別	備考
1	会長	里村 恵子	東京都立大学、東京保健医療専門職大学	学識経験者	
2	副会長	西野 こずえ	権利擁護センター「あんしん江東」	社会福祉協議会	
3		山内 順子	木場公共職業安定所	雇用関係機関	
4		白木 麗弥	ハミングバード法律事務所	法曹関係者	
5		宮本 光司	東京都立江東特別支援学校	教育関係機関	
6		渡部 早苗	東京都立墨東特別支援学校	教育関係機関	
7		会田 久雄	江東区手をつなぐ親の会	障害当事者・家族・関係団体	
8		平松 謙一	おあしす福祉会	障害福祉サービス等事業者	
9		佐藤 ゆき子	江東区身体障害者相談員	身体・知的障害者相談員	
10		伊藤 善彦	江東区知的障害者相談員	身体・知的障害者相談員	
11		高井 伸一	地域活動支援センター ロータス	相談支援事業者	
12		竹内 一成	江東区障害者福祉センター	障害福祉サービス等事業者	
13		青柳 浩二	のびのび福祉会	障害福祉サービス等事業者	
14		萩田 秋雄	ゆめグループ福祉会	障害福祉サービス等事業者	
15		田村 満子	こどもの発達療育研究所	障害福祉サービス等事業者	
16		油井 真	江東区聴覚障害者福祉推進協議会	障害当事者・家族・関係団体	
17		山口 浩	人権擁護委員	その他	
18		尾本 光祥	保健予防課長	保健所	
19		堀越 勉	教育支援課長	行政職員(区市町村)	

### （２）活動内容

障害者差別解消法、指定特定相談支援事業、各部会からの提言、障害福祉計画・障害児福祉計画等について

【専門部会の委員構成及び活動内容】

(1) 委員構成

種 別	部 会 名				
	就労支援部会	権利擁護部会	精神部会	地域生活支援部会	児童部会
学識経験者	0	0	0	0	0
医療関係者	0	1	3	0	3
保健所	0	0	1	0	1
教育関係機関	1	0	0	0	5
雇用関係機関	1	0	1	0	0
企業	2	0	0	0	0
障害当事者・家族・関係団体	0	2	1	0	0
身体・知的障害者相談員	0	0	0	1	0
相談支援事業者	1	1	0	3	3
障害福祉サービス等事業者	13	9	18	11	3
社会福祉協議会	1	1	1	0	0
法曹関係者	0	1	0	0	0
民生委員・児童委員	0	0	0	0	0
地域住民	0	0	0	0	0
行政職員(区市町村)	2	5	3	0	11
行政職員(都)	0	0	1	0	0
その他	1	2	0	0	2
計	22	22	29	15	28

(2) 活動内容

部会名	活動内容
就労支援部会	①コロナ禍における就労支援 ②発達障害者の就労支援 ③江東区障害者就労・生活支援センターのあり方
権利擁護部会	権利擁護に係る課題検討 権利擁護に関する情報発信(研修会等)について
精神部会	全体会で意見交換・事例検討を行うほか、以下のワーキンググループでの検討・活動を実施 ①長期入院患者の地域移行を進めるためのグループ ②地域生活を支える仕組みを考えるグループ ③制度や施設紹介、進めていくことを考えるグループ
地域生活支援部会	災害時緊急対策について 事業所間の連携・人材育成について
児童部会	全体会と①発達障害児、②家庭支援のワーキンググループ活動。居宅介護、移動支援等の福祉サービスの課題、発達障害児の早期支援、家庭支援、事例検討の実践、積み上げの手法について検討

## 【地域協議会の活動状況】

### 1 地域協議会の協議事項（複数回答）

#### ① 相談支援事業の運営体制に関すること

相談支援事業所連絡会の開催による相談支援事業所間の情報共有を図った。（地域生活支援部会）

#### ② 就労支援に関すること

就労支援や就労定着支援について、情報共有や課題整理を図った。（就労支援部会）

#### ③ 地域移行・地域定着支援に関すること

地域移行連絡会を実施し、活動方針の検討、講師を招いての学習会を実施した。長期入院患者地域移行対象者病院調査と訪問を実施した。（精神部会）

#### ④ 高齢者福祉サービスとの連携に関すること

精神部会で作成した福祉マップを長寿サポートセンターに訪問し配布。地域の課題抽出と連携強化を図った。（精神部会）

#### ⑤ 困難事例等の解決に向けた検討に関すること

障害児支援の事例検討を、継続的に行う機会が少なく、地域の支援力向上に繋がっていない。相談支援に携わる人の小グループでの事例検討会を継続的に実施し、それを積み上げながら、幼少期・児童期・青年期と経過を追った成長の様子と支援機関が連携した事例報告会の実施を検討し、地域の支援力向上に繋げることを検討する。（児童部会）

#### ⑥ 社会資源の開発及び改善に関すること

必要な福祉サービスの提供が十分でないという現状がある。障害児の短期入所先の不足、移動支援を担うヘルパーの確保が困難な実態が浮かび上がった。事業所の確保やヘルパー不足に対する啓発活動を協議した。（児童部会）

#### ⑦ 社会資源の開発及び改善に関すること

発達障害児の早期発見は充実し対象児は増加している。その一方で早期療育支援の場は不足し待機児の増加が認められ今後も増えて行くことへの課題について協議（児童部会）

#### ⑦ 社会資源の開発及び改善に関すること

放課後等デイサービスの待機児童問題に対しての事業所の積極的誘致について協議（児童部会）

#### ⑧ 障害者差別解消法や条例、権利擁護に関すること

障害者の意思決定支援についての研修を開催した。（権利擁護部会）※Zoomによる開催

### 2 地域協議会としての役割（複数回答）

#### ⑧ 社会資源の開発及び改善

障害福祉のヘルパー事業所不足問題に対して、児童部会で実際に啓蒙活動を行うことを検討（児童部会）

#### ⑨ 構成員の資質向上・研修の場

児童通所連絡会を開催。今後、事例検討会を継続的に実施し、それを積み上げながら、幼少期・児童期・青年期と経過を追った成長の様子と支援機関が連携した事例報告会の実施を検討し、地域の支援力向上に繋げる場として機能させることを検討（児童部会）

#### ⑩ 権利擁護・虐待防止

権利擁護部会において、権利擁護や障害者差別解消法の情報共有を行っている。

## 3-1 地域協議会における地域課題

あがっている

## 3-2 地域課題の把握方法（複数回答）

②全体会、専門部会、各種連絡会等

## 3-3 地域課題に対して取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等（複数回答）

## ① 相談支援の質及び量

相談支援事業所連絡会を開催し情報共有を図っている。

## ③ 権利擁護・虐待防止

権利擁護部会として、前年に開催できなかった研修会を実施する方向性の協議を行った。新型コロナウイルス感染防止に配慮してZoomにより実施した。

## ⑤ 福祉人材（マンパワー）の確保

高齢のみで、障害福祉サービスを実施していない居宅介護事業所に、障害児支援の協力依頼活動を行おうと検討したが、実施できず。（児童部会）

## ⑦ 医療的ケア

医療的ケア児リストを作成。それを行政側で情報追加、個人特定を行い管理している。（児童部会）

## ⑧ 障害児支援

発達障害児の乳幼児期から学齢期とライフステージが変わることへの支援の引継ぎの課題を検討。保育園では、障害特性に応じた支援プランのPDCAを行う「こども発達支援ゼミ」を実施。この手法の学校、児童通所への導入への取り組みは今後の課題（児童部会）

## ⑩ 就労支援

就労支援部会において、就労支援や定着についての課題について整理し検討している。

## 3-4 地域課題の中で、広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える課題

## ③ 権利擁護・虐待防止

成年後見人制度や障害者虐待防止、障害者差別解消法について、まだまだ理解されていない（知らない）ように思われるため、更なる周知等が必要と考える。

## 4 地域協議会における当事者の参画状況

（当事者の委員がいる区市町村）

## 4-1 多様な当事者の委員（障害や難病の種別、性別、年齢等）に参加していただくに当たり、取り組んでいること、課題になっていること

全体会及び権利擁護部会では手話通訳を派遣している。発言しやすいような環境づくり。声かけにより発言も出てきている。

（地域協議会を設置している区市町村）

## 4-2 当事者の委員だけではなく、地域で生活する多様な当事者（障害や難病の種別、性別、年齢等）の声を吸いあげられる地域協議会にするために、取り組んでいること、課題になっていること

障害者団体とのコミュニケーションを良くしておくことが必要と考える。